

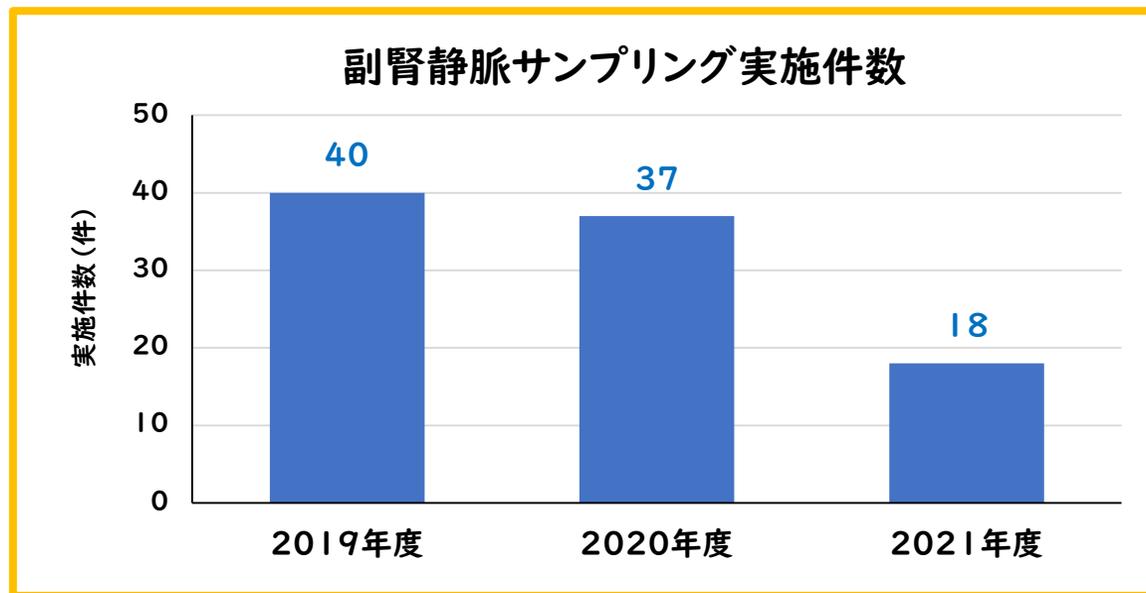
2 原発性アルドステロン症に対する副腎静脈サンプリング実施件数

内分泌・糖尿病内科

◆解説◆

原発性アルドステロン症は内分泌疾患でも頻度が非常に高いものの、治療方針を決定するための副腎静脈サンプリングを実施できる施設は限られています。

◆当院の実績◆



◆定義◆

医事コード602242「副腎静脈サンプリング」の実施件数

◆自己点検評価◆

2019年、2020年と比較し、2021年度は副腎静脈サンプリング件数が減少いたしました。これには理由として3つのことが考えられます。

1. 2021年から2022年にかけてコロナウイルス感染症の増加により、入院制限がかかってしまいました。
2. 2021年から原発性アルドステロン症の診断基準が変更されたことで、新規患者さんが一時的に減りました。
3. 当科での診療実績と研究結果により、本当に必要な患者さんにだけ副腎静脈サンプリングを実施するようになりました。

副腎静脈サンプリングの実施件数は減少したものの、その成功率は依然高い状態にあり、原発性アルドステロン症診療に関する高い専門性には変わりはないと考えます。